

ABC



第 83 期 中間事業のご報告

平成 21 年 4 月 1 日～
平成 21 年 9 月 30 日

朝日放送株式会社

証券コード：9405

INDEX

- ごあいさつ 1
- テレビ 3
- ラジオ 4
- その他事業 5

- 連結財務諸表 7
- 会社データ 9



ごあいさつ Message from the President



代表取締役社長 渡辺 克信

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立って、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告ば誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

正しい報道 Accurate information

美しい表現 Beautiful expression

楽しい番組 Cheerful programs

株主の皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第83期中間期(平成21年4月1日から平成21年9月30日)の事業報告がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

当中間期の放送業界は、昨年来の景気後退と企業の広告費抑制などにより引き続き厳しい環境となりました。当社グループといたしましては、更なるコストコントロールを進めながらもコンテンツのクオリティを維持すべく努めてまいりました。

さて、当中間期、放送事業のうち、テレビ放送では上半期のテレビ平均視聴率において全日帯・プライム帯・プライム2帯でトップとなり三冠を獲得いたしました。全日帯は、8.8%で5期連続、プライム帯は、14.2%で2期連続、プライム2帯は、9.9%で13期連続のトップとなります。ゴールデン帯は、12.9%で2位でした。

ラジオ放送でも、「第24回ビデオリサーチ関西圏ラジオ調査」において全放送時間帯平均のラジオ全局内シェアは22.7%となり、2006年以降14回連続の全局トップを達成することができました。

放送外収入では、ドラマ「必殺シリーズ」のDVD販売や携帯コンテンツが好調でした。また、高校野球関連コンテンツでも携帯サイトの有料会員登録者数が過去最高を記録したほか、動画配信が前年比380%と大きく伸びております。DVD「熱闘甲子園2009」の予約も例年を大きく上回る滑り出しとなりました。このほか映画「プリキュアオールスターズDX」が興行収入10億円と大ヒットとなりました。

ハウジング事業では、ABCハウジング奈良・登美が丘会場を新たにオープンさせたほか、7月には貸しトランクルーム事業を開業するなど増収を図っています。

ゴルフ事業では、入場者数が景気低迷や新型インフルエンザの影響などで前年に比べて減少いたしました。昨年石川遼選手が大活躍した「マイナビABCチャンピオンシップ」を今秋も開催し増収につなげてまいります。

キャンペーン関連では、「環境」をテーマに2000年にスタートさせた「ガラスの地球を救え」を今年も継続し、4月29日、テレビでは午前・午後に5時間半、ラジオでは4時間20分にわたって環境特別番組を編成いたしました。

また、2007年より「ABC子ども未来プロジェクト」として、「子どもの未来を視聴者のみなさんと共に考える」キャンペーンも展開しております。この4月からは、月曜日～金曜日の夕方6時54分からベルトのミニ枠「がんばれ!元氣ッズ」をスタートさせております。

以上のような事業活動の結果、当グループ連結での売上高は、376億1千8百万円(前中間期比7.7%減)となりました。セグメント別では放送事業の売上高は330億3千6百万円(同7.9%減)、ハウジング事業は41億3千7百万円(同6.2%減)、ゴルフ事業は4億4千4百万円(同10.2%減)となりました。費用面では、グループ全社で経費の削減に努めたことや今年は新社屋移転による一時的な費用が減少したことで、営業費用は、377億5千7百万円(同10.8%減)となりました。その結果、当社グループでの営業損失は1億3千9百万円、経常損失は1千4百万円、中間純損失は7千5百万円となり前中間期に比べ改善いたしました。

当社単独の業績としましては、売上高は315億5千7百万円(前中間期比8.0%減)となりました。テレビ放送事業収入では主力であるテレビスポット収入が、全国的に出稿量が減少した影響を受け、在阪広域4局中のシェアを25.9%としたものの前年に比べ7.7%の減収となりました。テレビタイム収入も低調に推移し、テレビ放送事業収入は270億9百万円(同8.8%減)となりました。ラジオ放送事業収入は15億3千1百万円(同17.6%減)、またその他の収入は、主として催物収入が増収となり30億1千6百万円(同6.8%増)となりました。営業費用は、経費の削減に努めた結果、319億5千9百万円(同11.6%減)となりました。

以上の結果、当社単独の営業損失は4億2百万円、経常損失は3億7千3百万円、中間純損失は2億4千8百万円となり前中間期に比べ改善いたしました。

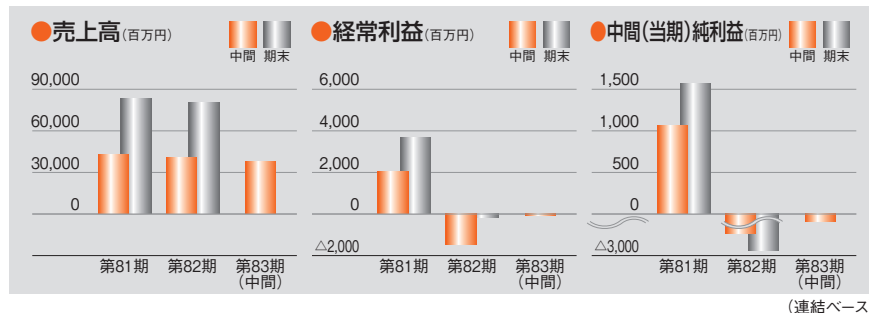
2011年、朝日放送が創立60周年を迎える年が、テレビのアナログ終了、デジタル全面移行という大きな区切りの年となります。朝日放送グループは、2011年までに、『強力な次世代の創造集団』に生まれ変わることを目指して当社およびグループ各社が一丸となって取り組んでまいります。

今後もより一層グループの総合力を高めて業績の改善に努め、企業価値向上を目指して努力してまいります。株主の皆様には、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

渡辺克信



(注)当社は四半期連結財務諸表規則及び四半期財務諸表等規則を採用しておりますが、本報告書では中間と読み替えて表示しております。



月～金曜 朝5:00「おはようコールABC」



月～金曜 朝6:45「おはよう朝日です」



火曜 午後8:00「最終警告!たけしの本当は怖い家庭の医学」

●上半期全日帯平均で5期連続首位を獲得

朝・夕・23時台のABC制作3ベルト番組や、プライム帯のABC発ネット3番組など自社制作番組の強化を継続し、当上半期の視聴率は、全日帯(6時～24時)、プライム帯(19時～23時)、プライム2帯(23時～25時)の3部門で1位となり、3冠を獲得しました。全日帯は2007年上半期から、プライム帯は2008年下半期から、プライム2帯は2003年上半期から連続しての1位となります。

上半期の平均視聴率は、朝帯の「おはようコールABC」が好調で、特に番組後半の6時台では7.0%と、自己ベストを更新しました。また、「おはよう朝日です」も12.2%を記録、引き続き朝帯の視聴率好調に大きく貢献しました。

プライム帯では、金曜21時台のABC・テレビ朝日共同制作ドラマ枠で1月～6月に放送した「必殺仕事人2009」の平均視聴率が16.1%を記録、火曜20時の「最終警告!たけしの本当は怖い家庭の医学」、日曜20時の「大改造!!劇的ビフォーアフターSEASONⅡ」も平均視聴率はともに10%を超え、好調に推移しています。

プライム2帯では、月曜日から木曜日23時台のローカルベルト番組、「ナイトinナイ

ト」の平均視聴率が11.6%、金曜日の「探偵!ナイトスクープ」が19.5%と、いずれも堅調に推移、プライム2帯の連続首位に貢献しています。

単発ドラマでは、9月18日に放送した「さよならが言えなくて～子供たちに迫るドラッグの誘惑、夜回り先生の苦悩～」が薬物を真正面から扱った硬派なドラマでありながらも、13.6%と健闘、個人視聴率でも、特にメッセージを伝えたかった若い世代に訴えかける結果となりました。

コンクール関連では、2009年日本民間放送連盟賞の番組部門のテレビエンターテインメント番組で「探偵!ナイトスクープ グランドアカデミー大賞」が優秀賞を獲得しました。



日曜 午後7:58「大改造!!劇的ビフォーアフターSEASONⅡ」

●ラジオ聴取率調査でV14達成!

年間4回行なわれている関西圏ラジオ調査において、ABCラジオは今年6月までAM、FMを合わせた在阪局の中でV14を達成、ラジオのゴールデンタイムである平日6時から18時では15連勝の快進撃を続けています。全放送時間帯平均の聴取率は、ラジオ全局内シェア22.7%で、調査対象となる全年齢層(12~69歳・男女)での堂々たる1位の座を3年半にわたって堅持しています。

●7月に大改編を実施

リスナーからのこうした支持を受けて、ABCラジオでは大胆な`CHALLENGE、として、全放送時間の45%を超える大きな改編を行ないました。メディアを取り巻く厳しい環境の中、予算と人的資源の集中と選択を実施した結果でもあります。

具体的には、テレビ・ラジオでキャリアを積んできた三代澤アナウンサーをパーソナリティにした「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」を、土曜日から平日ベルトのワイド番組(9:00~13:20)に変更しました。また、スポーツアナのエース、伊藤アナウンサーを起用した「ようこそ!伊藤史隆です」(土曜7:00~10:00)を編成するな



月~金曜 朝9:00 「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」

ど、ABCラジオのアナウンサーによる、ABCラジオらしい、優しく、温かく、地域に密着した`COMMUNICATION、をより深く図っています。

「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」では、兵庫県芦屋市で行なわれた、がん撲滅キャンペーン「リレー・フォー・ライフ」への参加や、びわ湖バレーでの「ノルディック・ウォーキング・イベント」、ザ・シンフォニーホールでのコンサート「ドキハキ・クラシック」などを企画、また「元気イチバン!芦沢誠です」や「おはようパーソナリティ道上洋三です」でも、スタジオを飛び出して公開生放送を行なうなど、リスナーと積極的にふれあい、ABCラジオあがてのダイレクト・コミュニケーションに努めています。

ABC radio

100.8 kHz



土曜 朝7:00 「ようこそ!伊藤史隆です」

おはよう
パーソナリティ
道上洋三です



月~金曜 朝6:30 「おはようパーソナリティ道上洋三です」



「SUMMER SONIC 09」



「LOVE30 VOL.3」



東京セレンデラックス「流れ星」

●イベント事業

事業イベントでは、4月に大阪城西の丸庭園で「星空コンサート」を開催しました。大植英次氏指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏が、雨の降るなか集まった4,000人の聴衆を魅了しました。6月から9月にかけて「ルーヴル美術館展」を開催し、28万人を超す入場者がありました。また、6月には舞台「僕たちの好きだった革命」の再演、7月にはABC制作のテレビドラマを舞台化した「LOVE30 VOL.3」などの演劇を主催しました。8月には10回目となる西日本最大のロックフェスティバル「SUMMER SONIC 09」を初めて3日間にわたって開催し、8万8,000人の聴衆が舞洲の特設会場に集結しました。同じく8月には50周年を迎えた永遠の名作、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」を上演。ブロードウェイのダンス、歌の迫力に大いに盛り上がりました。9月にはオペラ「アイーダ」、東京セレンデラックス「流れ星」公演を開催。特に「アイーダ」は完売の大盛況でした。その他、イル・ディーヴォなどのコンサートや、プリキュアや仮面ライダーの子ども向け催しなど、様々なイベント

を実施しました。

ABCホールでは、8月に「バッファロー・吾郎」20周年公演を1ヶ月連続で開催するなど個性的なイベントが目白押しでした。

また、ザ・シンフォニーホールでは、4月に「エフゲニー・キーシン ピアノリサイタル」、6月に「フェドセーエフ指揮 モスクワ放送交響楽団」、8月に「五嶋龍 ヴァイオリン・リサイタル」などを開催し、連日連夜、新たな感動の渦を巻き起こしています。



©ABC・東映アニメーション

「フレッシュ プリキュア! ミュージカルショー」

●コンテンツ事業

番組コンテンツの二次利用では、本年上半期に放送した「必殺仕事人2009」DVDのセールスが好調のほか、高校野球関連では「熱闘甲子園最強伝説シリーズ」で過去の試合を収録したDVDや「熱闘甲子園2008、2009」DVDも好成績を収めました。

アニメ「プリキュア」シリーズの商品化も引き続き好調です。

また、金曜21時ドラマシリーズの海外番組販売も、香港・台湾・アメリカなど順調に推移しています。

携帯サイトでは、高校野球の過去の名勝負などの動画配信や、「最終警告!たけしの本当は怖い家庭の医学」で紹介した料理レシピの課金提供で契約数を順調に伸ばし、売り上げを前年比16%増としています。

PCサイトでも、「ABC動画倶楽部」にて、高校野球の過去の名勝負を配信し、好評を博しています。



「熱闘甲子園2009」
「熱闘甲子園2008」
「熱闘甲子園 最強伝説Vol.1」

●ショッピング事業

レギュラー番組「評判!なかむら屋」を軸とする通販事業は4年目に入りました。景況の影響を受け、右肩上がりの売り上げを維持することが難しい情勢の中、情報番組のテイストを持った単発の通販番組を多く制作するなど新たな分野にチャレンジしています。ウェブショッピングでは、高校野球のDVDやグッズなどABCの強みを生かした商品が好調です。



月～木曜 午前10:53「評判!なかむら屋」



携帯サイトが リニューアル!

この秋、ABCの携帯サイトが更にパワーアップしました。(月額315円、525円)

①『おしゃべりクッキング』

過去レシピを一挙公開!検索機能はもちろん、お手元の携帯に材料一覧をメールでお送りします。

また、嬉しい動画による料理説明も!!

②『フレッシュ プリキュア!』

オリジナルの携帯きせかえツールが登場!子どもに大人気のプリキュア検定も実施中。

③『探偵!ナイトスクープ』

番組の名物コーナー・小ネタ集の中から、特に面白かった素人動画を厳選配信!

そのほかの人気番組でも、ぞくぞくと新しいコンテンツを追加中!



QRコード



<http://m.asahi.jp/>

ABCトップページ
(11月現在)
11月には、秋のケータイ祭りを実施しました。

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年9月30日現在	前中間期 平成20年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在	科目	当中間期 平成21年9月30日現在	前中間期 平成20年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	28,861	32,145	29,121	流動負債	12,919	13,970	13,493
現金及び預金	7,539	10,548	7,329	短期借入金	400	700	700
受取手形及び売掛金	11,006	12,188	11,496	1年内返済予定の長期借入金	3,050	320	3,190
有価証券	7,749	4,596	5,493	未払金	5,655	7,527	6,276
番組勘定	836	789	1,051	未払法人税等	178	193	104
その他	1,746	4,029	3,759	引当金	—	20	13
貸倒引当金	△ 17	△ 7	△ 9	その他	3,634	5,208	3,209
固定資産	66,191	69,340	66,843	固定負債	28,668	33,076	29,319
有形固定資産	47,733	49,256	49,113	長期借入金	2,040	5,090	2,060
建物及び構築物(純額)	24,579	24,909	24,951	退職給付引当金	11,020	10,948	10,801
土地	10,644	10,352	10,644	引当金	57	45	57
その他(純額)	12,508	13,994	13,517	負ののれん	430	602	516
無形固定資産	1,776	1,871	1,779	その他	15,119	16,391	15,883
のれん	116	149	133	負債合計	41,587	47,047	42,812
その他	1,660	1,721	1,646	(純資産の部)			
投資その他の資産	16,681	18,212	15,950	株主資本	49,627	51,445	49,891
その他	16,704	18,257	15,974	資本金	5,299	5,299	5,299
貸倒引当金	△ 23	△ 45	△ 24	資本剰余金	3,610	3,610	3,610
資産合計	95,052	101,485	95,965	利益剰余金	40,718	42,535	40,981
				自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
				評価・換算差額等	1,059	383	544
				その他有価証券評価差額金	1,059	383	544
				少数株主持分	2,777	2,610	2,717
				純資産合計	53,465	54,438	53,152
				負債純資産合計	95,052	101,485	95,965

(注)1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。

2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	37,618	40,765	80,284
売上原価	26,193	28,801	54,970
売上総利益	11,424	11,964	25,314
販売費及び一般管理費	11,563	13,504	25,494
営業損失(△)	△ 139	△1,539	△ 179
営業外収益	263	256	460
営業外費用	138	199	431
経常損失(△)	△ 14	△1,483	△ 150
特別利益	—	56	69
特別損失	—	271	1,892
税金等調整前中間(当期)純損失(△)	△ 14	△1,698	△1,974
法人税等	△ 14	△ 608	377
少数株主利益	75	84	189
中間(当期)純損失(△)	△ 75	△1,174	△2,540

(注) 1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。
2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,374	1,556	2,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	△3,313	△5,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,094	△ 766	△1,597
現金及び現金同等物の増減額	3,310	△2,523	△4,942
現金及び現金同等物の期首残高	10,718	15,554	15,554
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	107	107
現金及び現金同等物の中間期末 (期末)残高	14,029	13,138	10,718

(注) 1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。
2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

剰余金の配当に関する事項

		当 期	前 期
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 45円	普通配当 45円
	期 末	普通配当 45円(予想)	普通配当 45円
	年 間	90円(予想)	90 円

会社データ Corporate Data

会社の概況 (平成21年9月30日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	661名
事業内容	放送法および有線放送法による 一般放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

役員 (平成21年9月30日現在)

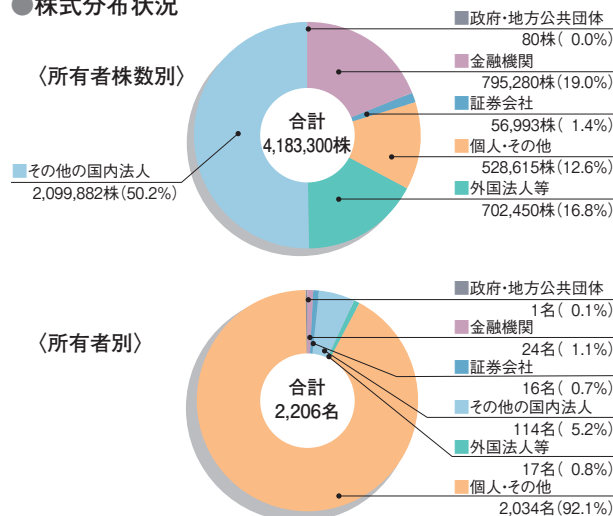
代表取締役社長	渡辺 克信	取締役	古川 賢三
代表取締役専務取締役	北畠 宏泰	取締役	福田 正史
常務取締役	和田 省一	取締役	田仲 拓二
常務取締役	脇阪 聡史	取締役	川村 恒雄
常務取締役	水野 文英	常勤監査役	村井 守
取締役	領木新一郎	常勤監査役	木下 栄一
取締役	脇 英太郎	監査役	白賀 洋平
取締役	池内 文雄	監査役	黒石 輯
取締役	山口 昌紀	監査役	橋本 宗利
取締役	坂井 信也		
取締役	早河 洋		

株式の概況 (平成21年9月30日現在)

●発行可能株式総数	14,400,000株
●発行済株式総数	4,183,300株
●株主数	2,206名
●大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	622,490 株	14.9 %
MORGAN STANLEY & CO. INC	457,210	10.9
株式会社テレビ朝日	387,760	9.3
学校法人帝京大学	155,400	3.7
朝日新聞信用組合	150,000	3.6
村山 美知子	145,500	3.5
日本生命保険相互会社	125,650	3.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	101,000	2.4
大阪瓦斯株式会社	85,500	2.0
近鉄バス株式会社	80,000	1.9

●株式分布状況



M-1 グランプリ 2009

12月20日(日) 夜6時30分～
ABC・テレビ朝日系全国ネット

今年は史上最多の4629組がエントリー！
歴代のグランプリは、

2001年 中川家
2002年 ますだおかだ
2003年 フットボールアワー
2004年 アンタッチャブル
2005年 ブラックマヨネーズ
2006年 チュートリアル
2007年 サンドウィッチマン
2008年 NON STYLE

今年、お笑いスターへの切符を手にする
のは誰なのか？この手に汗にぎる決勝戦
の模様を、全国ネットで臨場感たっぷりに生放送します！



M-1
グランプリ
2009

今年も決まる。本物の王者が。

12.20
LIVE

通才日本一決定戦！

12月20日(日) よる6時30分 生放送

最後のイスをかけた
敗者復活戦も生中継！
午後4時00分～5時25分

ABC tv asahi 系 全国ネット

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<<http://asahi.co.jp>>

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)



この中間事業のご報告は、環境に配慮し、大豆インキをしようしております。